

2011年度

科目名	日本の歌謡A		
担当教員	佐々木 聖佳		
配当	文 2・教育2・人間2	コード	22035
開期	前期	講時	火曜日2限
		単位数	2
授業テーマ	歌謡文芸に親しむ		
目的と概要	この講義は、国文学の立場から、日本に古代から伝わる歌謡を取り上げ、時代的な背景や歌の発想、表現などの諸問題について講じる。多くの人の心をとらえ口ずさまれてきた歌謡には、その時代の人々の感情や感覚が文芸として昇華された、優れたものが多い。古代から近代までの歌謡について、詞章面からそのよさ、おもしろさを味わい、現代にも通じる歌の力について考えていくことを目的とする。なお、「日本の歌謡A」では、古代から鎌倉時代までの歌謡について講じる。		
成績評価法	前期末試験50%・平常点40%・授業時のレポート10%		
テキスト	使用しません。プリントを配布して講義します。		
参考書	必要に応じて、講義の中で紹介します。		
履修に当たっ ての注意・助言 /準備学習	履修に当たって:ビデオを見、音楽を聴き、自分で作業をする中から歌謡を多角的にとらえていきます。歌に関心をもって積極的に参加してください 準備学習:授業では「名前を聞く」「意味不明の歌詞」など各回のテーマに合った現代の歌を探してもらいます。日常、意識的に様々なジャンルの歌を聴き、歌詞に注目して考えてください。		
講義計画			
第1回	講義概要 及び 日本歌謡史		
第2回	古代歌謡(1) 童謡		
第3回	古代歌謡(2) 歌垣—古代歌謡生成の場		
第4回	古代歌謡(3) 歌垣—お手をどうぞ		
第5回	古代歌謡(4) 歌垣—あなたのお名前は?		
第6回	古代歌謡(5) 橋のたもとで聞く話		
第7回	古代歌謡(6) さかさま歌の呪力		
第8回	雅楽(1) 雅楽とその時代		
第9回	雅楽(2) 雅楽の歴史		
第10回	雅楽(3) 映画における雅楽		
第11回	今様(1) 今様を作ろう		
第12回	今様(2) 白拍子静の造形		
第13回	今様(3) 『梁塵秘抄』の歌		
第14回	歌の力—南島歌謡		
第15回	まとめ—歌謡文芸の世界		